



学校だより 5月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和3年4月30日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

148年の歴史を受け継いで

副校長 橋爪 純子

平年より早く咲き始めた桜も葉桜となり、新緑が美しい季節となりました。先日は、1年生を迎える会があり、全校そろっての朝会も始まりました。子どもたちは新しい環境に慣れてきているようで、朝は笑顔で挨拶を交わし、学習にも意欲的に取り組んでいます。

さて、この度、石川小学校に着任いたしました副校長の橋爪 純子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着任して1か月近く経ちますが、石川小学校の子どもたちは、気持ちのよい挨拶ができ、何事にも主体的に取り組もうとする姿が魅力的だなと感じています。朝、校門で登校する子どもたちを迎えていると、「四つ葉のクローバーを見つけたよ」と、見せてくれた子がいました。幸せのおすそ分けをしてもらったような気がして、その日は1日ほっこりした気持ちで過ごしました。このように優しい心の子どもたちを、教職員一同でしっかり支え、育てていきたいと思えます。

先日の4月27日は、本校の創立記念日でした。今年、148周年を迎えました。23日に実施された創立記念式では、石川小学校の歴史を写真などで振り返り、クイズも交えながら、歴史をつないでいこうという思いや、学校を大切にしようとする心情を全校の子どもたちが共有しました。私は着任したばかりですので、発見ばかりの内容でした。着任して見つけた石川小のよさは、たくさんあります。以前南区の学校に勤務していたことがあり、石川小からの眺望のすばらしさはよく知っていました。しかし、校地内にこのように自然豊かな「自然園」があることは着任して初めて知りました。鳥のさえずりも聞こえ、遊歩道を歩くと心が安らぎます。昭和3年に横浜市が造った中央教材園が、昭和50年に石川小のものとなり、現在に至るそうです。周年記念誌を紐解くと、現在の学校の環境があるのは多くの方のご尽力の賜物であること、このように豊かな環境の中、保護者や地域の方にあたたかく見守られながら子どもたちが育ってきたことなどがよく分かり、その歴史の重みに深く感銘を受けました。148年の歴史を受け継ぎながら、これからも皆様とともに新たな歴史を積み重ねていけたらと思います。



石川小学校4階からのみなとみらい遠景

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、神奈川県において、まん延防止重点措置が4月20日から5月11日まで適用される状況となっています。学校では、横浜市教育委員会から示されているガイドラインのもと、感染拡大防止対策を十分に講じながら、教育活動を進めて参ります。ご家庭におかれましても、引き続き丁寧な健康観察にどうぞご協力ください。今後とも、本校の教育活動にご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。